



333 East 47th Street
New York, NY 10017
japansociety.org

FOR IMMEDIATE RELEASE

<プレス・リリース>

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティ(JS) & ポートランド日本庭園 ジャパン インスティテュート共催

リビング・トラディションシリーズ
オンラインセミナー

『紅型：琉球王朝が育んだ魅力と伝統』

Bingata Textiles: Preserving a Royal Tradition in Okinawa

10月18日(火) 午後7時00分～8時00分*米国東部時間

午後4時00分～5時00分*米国太平洋時間



© Chinen Bingata

JSは10月18日（火）、「リビング・トラディションシリーズ」のオンラインセミナー『紅型：琉球王朝が育んだ魅力と伝統』を開催します。

国指定伝統的工芸品「琉球びんがた」は、沖縄のみに留まらず、京友禅や江戸小紋と並び日本を代表する染物の一種です。花鳥風月が華やかに描かれた図柄の紅型は、琉球王朝の王族や士族の婦人が礼装として着用し、現在も沖縄の職人たちによって伝統的な染織技術が受け継がれています。沖縄の本土復帰50周年を迎えた今年、豊かな自然の中で生まれ複雑な歴史を通じ育まれてきた紅型の歴史、手法、そして新たな試みについて、マディソン・アート・コレクション&リザンビー博物館ディレクターのジニー・ソークセン氏、琉球王朝時代から続く紅型三宗家『知念家』十代目の知念冬馬氏と共に探っていきます。司会はハワイ大学沖縄センター所長の石田正人氏をお迎えします。

アジェンダ：

レクチャー、ディスカッション、Q&A

午後7時00分～8時00分（米国東部時間）／午後4時～5時00分（米国太平洋標準時）

参加費：無料（参加には事前登録が必要です）

登録方法：[こちら](#)よりご登録ください。

*本オンラインセミナーはYouTubeにて配信します。事前登録いただいた皆様に、イベント当日に視聴リンクをお送りします。

*オンラインセミナー中は、YouTubeを通してスピーカー・モデレーターにご質問いただけます。

*本オンラインセミナーは英語で行い、一部逐次通訳で行われます。

スピーカー

【知念冬馬氏】

紅型三宗家知念家十代目当主、知念紅型研究所代表。

琉球王朝時代から続く老舗紅型工房。王朝時代は王族お抱えの御三家のひとつであり、当時、知念紅型研究所は「下儀保知念家」と呼ばれていた。着物や帯を中心に、歴史的な古典柄からモダンな創作柄を作り続けている。京都や海外でのデザインの学びを経て、2017年に工房を引き継ぐ。型置きの技

術が特に求められる染色技法に魅せられ、紅型の重ね型技法「離型」や、生地を表と裏に柄を染める「両面型」に精力的に取り組んでいる。近年では、他産地や他の業界とのコラボレーションにも取り組んでいる。

【ヴァージニア・ジニー・ソークセン氏】

マディソン・アート・コレクション&リサンビー・ミュージアム館長。これまで、フラリン美術館、リングリング美術館、クラーク日本美術文化センター、フリスト美術館に勤務。教育プログラムやオーディオビジュアル展示の構成に携わり、Southeastern Museums Conference や Tennessee Association of Museums からいくつかの賞を受賞。出版物には『Textiles Asia』、『Textiles of Japan : The Thomas Murray Collection』 (Prestel, 2019) などがある。メアリー・ワシントン大学で心理学の学士号を取得し、タフツ大学で美術史の修士号を取得。現在、ジェームズ・マディソン大学で戦略的リーダーシップ研究の博士課程に在籍中。

モデレーター

【石田正人氏】

ハワイ大学マノア校哲学科准教授。日本、カナダ、米国でアカデミックトレーニングを受け、ペンシルバニア州立大学で哲学の博士号を取得後、2009年にハワイ大学マノア校の哲学科に入学。2018年よりハワイ大学付属の沖縄研究センターのセンター長を務める。専門はアメリカ古典哲学と日本伝統哲学であり、特に沖縄の近代的な知的運動に関心がある。戦前・戦後の沖縄に関する論文を発表しているほか、日本本土、沖縄、米国で沖縄関連の講演を多数行っている。

本イベントは、「リビング・トラディションシリーズ」の第1弾として開催されます。

リビング・トラディションシリーズ

世界を惹きつけてやまない日本文化の精髓は、何世紀にもわたる伝統に根ざしていると言えます。

「リビング・トラディションシリーズ」では、異なるテーマについて多様なスピーカーを迎え、今日人々に親しまれている日本文化の諸相を歴史的に紐解きつつ、確固たる伝統が現代社会でどのように継承されているかを議論します。

取材お申し込み：取材のお申し込みは、プレス担当：マリカ（日本語）／ロッドマン（英語）までEメールで(Emarica@japansociety.org/ ARodman@japansociety.org)ご連絡下さい。

本オンラインセミナーは、ポートランド日本庭園 ジャパン インスティテュートの共催及び日本政府の支援により開催しております。

ジャパン・ソサエティープログラムは、ブースフェリス財団及び資生堂アメリのスポンサーにて開催しております。また、文化プログラムには匿名ドナー、the Sandy Heck Lecture Fund にも多大なご支援・ご協力をいただいております。

JSについて：

JS は、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々をつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されている JS 本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。1907 年以來、JS では「きずな（絆）」の考えのもとに、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようとする世界の人々にとって信頼できる案内役となること、そして日米間の相互理解の促進と絆を深めることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は www.japansociety.org をご覧ください。

公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/japansociety](https://www.facebook.com/japansociety)

Instagram：[@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter：[@japansociety](https://twitter.com/japansociety)

その他、詳しい情報は弊社ウェブサイト <https://www.japansociety.org> をご参照ください。

ポートランド日本庭園 ジャパン インスティテュートについて：

ポートランド日本庭園財団は、第二次世界大戦後の日米両国間の文化理解の場として 1963 年に創立されたアメリカ合衆国の公益財団法人です。時を経て、年間来場者数 50 万人を超えるポートランドを代表する庭園文化団体となり、日本国外にある最も本格的な日本庭園と認められるまでに成長した庭園

は、2020年、姉妹機関となるジャパン インスティテュートを設立しました。インスティテュートは、庭園のミッションである「Inspiring Harmony & Peace」のもと、シンポジウムやワークショップを始めとするさまざまなプログラムを通じて、世界的な指導者、アーティスト、庭師、研究者のグローバルネットワーク構築を促進。調和と平和を促す庭園の活動をさらに推し進め、より友好的で持続可能な世界を実現するべく、文化理解を世界へ発信することを目的としています。

公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/PortlandJapaneseGarden](https://www.facebook.com/PortlandJapaneseGarden)

Instagram：[@portlandjapanesegarden](https://www.instagram.com/portlandjapanesegarden)

Twitter：[@PDXJapaneseGdn](https://twitter.com/PDXJapaneseGdn)

その他、詳しい情報は弊園ウェブサイト <https://japanesegarden.org/> をご参照ください。

###